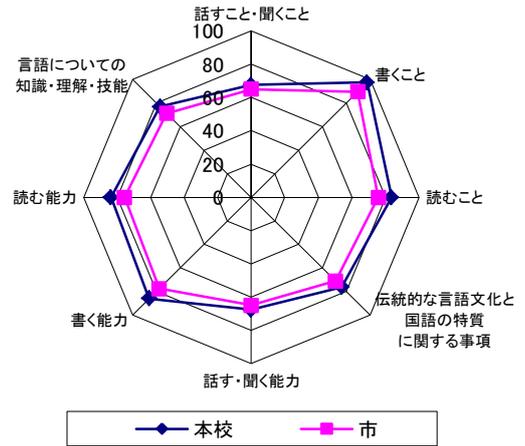


宇都宮市立平石北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	67.5	64.9	69.8
	書くこと	97.6	89.8	81.9
	読むこと	83.6	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.2	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	67.5	64.9	69.8
	書く能力	86.0	77.7	73.7
	読む能力	83.6	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	76.9	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。 話し合い活動での司会者の役割をふまえて答える問題については、正答率が20%に達していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年から、段階に応じた話し方の型や話し合いの手順などを示し、目的意識や意図をもった話の聞き方や話し合いができるようにしていく。 人前で話することに慣れるよう、発表の場を多く設けたり、自信をもてるような環境をつくる。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均を上回っている。特に、自分の意見とその理由を区別して書く問題においては、100%である。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて書く内容を考えられるよう、国語以外でも書く活動を多く取り入れるようにする。 情報のまとめ方については、国語以外の教科においても横断的に指導する。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は、宇都宮市の平均を上回っている。特に、文章の相互関係に注意して登場人物の気持ちを読み取ったり、与えられた情報から文章の類似点を理解したりする問題については、市の平均より10ポイント程度高い正答率になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた読み取りのポイントを各学年でしっかりおさえる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には正答率は宇都宮市の平均を上回っており、特に、漢字の読みについては正答率が80～100%となっている。 書き取りや敬語への理解についてはの正答率は、市の平均よりは高いが50～60%前後、主語の理解については正答率が市の平均より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市で行っている「宮っ子学カステップアップシート」を活用し、漢字や計算の基本的な学力の向上を図る。 授業中や朝の時間などに、音読や詩の暗唱・群読等に取り組み、言語活動の幅を広げていく。 学年に応じた文や文章の構成に関する知識を各学年でしっかりおさえたり、既習学年の復習を取り入れたりすることで、定着を図る。